

## 2013年度の企画展

今年で万代島美術館は開館10周年を迎えます。

所蔵品展の無料開館日を企画しておりますので、みなさま是非ご来館ください。(所蔵品展の紹介は2ページをご覧ください。)

## ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り

6月1日(土)—8月11日(日)

アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は、19世紀末を代表する画家であり、アール・ヌーヴォー様式の巨匠のひとりとして日本でも幅広い人気を誇る作家です。日本で最初の回顧展が開催された1978年以来、数多くのミュシャ展が開催されてきました。その多くは、世纪末のパリ時代の作品や活動に焦点をおい

たもの、または年代を追って構成されたものでした。本展は、ミュシャ財団の全面協力のもと、これまでの展覧会とは一線を画し、ミュシャの芸術家としての功績を通じて、作品のみならず、作家のコンセプトや芸術理念、さらには思想を考察するという斬新なものです。

《夢想》1897年  
©Mucha Trust 2013



## 京都 清水寺展

8月23日(金)—10月14日(月・祝)



《本堂 十一面千手觀世音菩薩立像(御本尊御前立)》

京都の名刹である清水寺は、平安の昔から観音信仰の靈場として広く知られてきました。本堂・舞台(国宝)をはじめ、重要文化財の堂塔が建ち並ぶ景観は、京都の名所としてのみならず、世界遺産として国内外から多くの参詣者を集めています。

本展では、寛永再建380年を記念し、普段は目にすることのない多数の寺宝をご紹介いたします。三面千手觀世音菩薩坐像(奥の院御本尊・鎌倉時代)などの重要文化財の出陳も予定されています。

## 篠山紀信展 写真力

12月14日(土)—2014年3月2日(日)



《ジョン・レノン オノ・ヨーコ》1980年

時代を見越し、時代に先駆ける活動が常に話題をさらってきた写真家篠山紀信(1940-)。有名人の肖像を中心に、50年間に亘り撮影されてきたおびただしい作品の中から、「写真力」みなぎる傑作の数々を展示します。昨年東京で開催され、展示空間に合わせたダイナミックな巨大写真で観客の度肝を抜いた展覧会が、遂に新潟に登場します。

## 梅佳代展

2014年3月15日(土)—5月6日(火)(予定)



《うめ》より 2004年 ©KAYO UME

なにげない日常に潜む様々な光景を独自の視点から切り取る写真家・梅佳代(1981-)。いま若手写真家の中で最も熱く幅広い視線を浴びています。本展では、彼女の活動の根幹ともいえるスナップ写真による「シャッターチャンス」シリーズ、身近な他者との関係性を軸に展開する「男子」「じいちゃんさま」シリーズなど、未発表作品を交えて大胆に再構成します。

# ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り

6月1日(土)ー8月11日(日)

万代島美術館では6月1日より、「ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り」を開催します。ミュシャといえば、今日の化粧品の広告を思わせるような、美しくも艶めかしい女性が描かれたポスターが有名で、日本でも1970年代以降絶大な人気を誇っている、アール・ヌーヴォー様式の巨匠です。バブル経済まったく中、日本経済が上り調子だった時代をご存じの方の中には、書店や画廊の店頭に販売用として並んでいたミュシャのリトグラフが記憶に残っている方も多いかもしれません。実際に、かつてはミュシャの華やかなポスターが、日本では高値で取引されていた時代もありました。

ところで、みなさんはミュシャの出身地をご存知でしょうか？ 実際にミュシャは19世紀末のフランスのパリで、画家としてイラストレーターとして活躍しました。しかし、元々の出身地はモラヴィア地方、今日のチェコ共和国、冷戦時代のチェコスロvakia社会主義共和国です。当時はハプスブルク家の支配下にあったモラヴィア地方イヴァンチツェに生まれたミュシャは、まずはワインに学び、次いでパリに出てからは女優サラ・ベルナールのポスターを手がけたことをきっかけに大ブレイクします。しかし、パリで大成功をおさめた後のミュシャは、祖国のチェコに戻り、第一次世界大戦後に新しく誕生したチェコスロvakia共和国のため、無償で貨幣や切手をデザインしたり、スラヴ民族の歴史や文化を広く知らしめようと、「スラ



《ヤロスラヴァの肖像》  
1927-35年頃  
©Mucha Trust 2013

ヴ叙事詩」という大規模な連作をも手がけたりしました。ミュシャの人気は、欧米や日本だけではありません。日本以外の東アジアに限っても、2011年に台湾を代表する美術館である台北の国立故宮博物院でミュシャ展が開催され、そして今年は韓国ソウルで、PSYの《江南スタイル》で有名になった江南地区にある「芸術の殿堂ハンガラム美術館」で、大規模なミュシャ展を開催予定と聞いています。ただし、韓国では、「ミュシャ展」ではなく「ムハ展」です。日本に比べればミュシャの受容の歴史が浅い韓国では、日本での慣用表現であるフランス語表記ではなく、現地語であるチェコ語読みでこの画家のことを表現しています。日本でも正しい表記である「ムハ」に変えたらどうかという意見もありますが、日本国内では、「ミュシャ」は「フランス」の「アール・ヌーヴォー」の画家であるというイメージが定着しきっているため、それは決して容易なことではありません。

これまでの展覧会が、「アール・ヌーヴォーの旗手」である「ミュシャ」の一面のみを紹介していたものであるとしたら、今回のミュシャ展は、チェコ美術に新風をもたらした、そして祖国チェコを愛した画家「ムハ」をも紹介している、総合的なものです。このたびの展覧会を通して、「ミュシャ」いや「ムハ」の芸術世界を余すところなく感じ取っていただければ幸いです。

## 2013年度の所蔵品展

新潟県立近代美術館と万代島美術館で所蔵している6,000点を越える作品の中から、テーマを設け、新たな切り口で作品を紹介します。

### ひとの姿／人のかたち

3月20日(水・祝)ー5月19日(日)

人間にとって一番の関心の対象は「ひと」ではないでしょうか。美術家たちは様々な人物を多種多様なやり方で描き、また人間を描くことをとおして自分自身の作品を追究してきました。興味の尽きない「ひと」の姿・かたちを巡る表現を取り上げます。



ジョン・エヴァレット・ミレイ 《アリス・グレイの肖像》  
1859年

### 新潟の日本画100年

10月26日(土)ー12月1日(日)

佐渡出身の土田麦僊や上越出身の小林古径、さらには吉田町(現・燕市)出身の横山操など、新潟県は優れた日本画家を多数生み出していました。本展では、こうした巨匠の名品のみならず、新潟の日本画の源流である江戸時代の五十嵐浚明や行田魁庵らの作品から、精力的に活躍している若手作家である長沢明らの作品にいたるまで、100年以上連綿と引き継がれてきた新潟の日本画の流れを概観します。



行田魁庵・他 《新潟年中行事絵巻》(部分)  
19世紀後半

## EVENT PICK UP ~イベントピックアップ~

### 企画展「メアリー・ブレア原画展」 かわいい! たのしい! モール手芸教室

モールアーティストのなかじまくみこ先生を講師にお招きして、モールを使った手芸教室を開催しました。小さなお子様も先生の説明をじっくり聞いて、うさぎさんやお花など、かわいいモール作品を仕上げていました。



### 企画展 「巨匠たちの英國水彩画展」 19世紀英國の音楽 絵とともに味わう、歌とダンスのメロディ

演奏してくださったのは、大竹奏さん(フィドル)と松里俊明さん(ファゴット)のお二人。「オールド・ラング・サイン」



(「螢の光」の原曲)など、19世紀に英国の人々に親しまれた曲を、160名を超えるたくさんの方にお聴きいただきました。

### NIIGATA アートリンク

現代美術をテーマにした展覧会が同時開催されることを記念し、新潟県立近代美術館・万代島美術館と新潟市美術館の3館で「NIIGATA アートリンク」を実施しました。それぞれの会場でオリジナルデザインのスタンプを押し、3館全制覇されたお客様に景品をプレゼントするという企画で、3館合計で191人のお客様に景品をお渡しました。今年はさらに新潟市新津美術館を迎、4館でパワーアップした企画を実施予定です!



### ホームページリニューアル&光ステーション設置

万代島美術館のホームページがリニューアルしました! イベント情報や展覧会のみどころを紹介する「ニュース」や「トピックス」コーナーを新たに設置、美術館の最新情報を配信しています。スマートフォンやタブレット型端末にも対応していますので、どうぞお気軽にアクセスください。また、館内に公衆無線LANアクセスポイント「光ステーション」を導入しました。スマートフォンやネットブックをお持ちの方は、無料でご利用いただけます。



## 無料開館のお知らせ

今年は万代島美術館・近代美術館の両館でそれぞれ節目の年を迎えます。これを記念して次の日に無料開館を予定していますので、皆様のご来館をお待ちしております。

### 万代島美術館

11月3日(日・文化の日)  
所蔵品展 新潟の日本画100年

### 近代美術館(長岡市)

7月15日(月・海の日)  
コレクション展のみ無料

## サポートメンバーを募集しています

万代島美術館では、皆さんに美術館により親しんでいただくために、サポートメンバー(ボランティア)を募集しています。内容は、美術館および展覧会のイベントへの協力と、当館の活動や展覧会準備の補助です。希望される方は、応募用紙に必要事項を記入し、お申し込みください。

※応募用紙は当館ホームページからダウンロードできます。また、お電話でお問い合わせいただければお送りします。

### URL

<http://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

## 万代島美術館10年を振り返る

当館は2003年7月12日(土)に、現代に活躍する意欲的な旬の画家11人を取り上げた展覧会「絵画の現在」で開館しました。今年で10周年を迎ますが、昨年の「シャガール展」開催中の9月16日には、開館以来100万人目のお客様を迎えることができました。また、正式開館に先立つ5月1日から5日までの間、新規収集作品のお披露目展示を行っており、観覧無料だったこともあり、わずか5日間で13,572人もの方に見ていただきました。



「絵画の現在展」アーティストトーク(2003)



「大英博物館の至宝展」会場風景(2004)

当館ではこれまで様々な分野に目を向け55本の展覧会を実施してきました。「大英博物館の至宝展」(2004)、「ポーラ美術館コレクション展」(2008)といった名品紹介の王道から、ミッフィーで有名な「ディック・ブルーナ展」(2004)、ジブリ・アニメの背景画を手掛けている「男鹿和雄展」(2009)なども行いました。これら華やかな巡回展の陰にある大事な活動として、北東アジア地域にも目配りしつつ、学芸員の地道な研究やアイデアに基づく独自企画や所蔵品展も開催しています。

これからも、あらゆる美術を対象に、アートの面白さを伝えるために、新潟県立万代島美術館は頑張ります。



来館者100万人記念(2012)



「男鹿和雄展」会場風景(2009)

## 近代美術館(長岡市)の企画展

### [開館時間]

午前9時～午後5時  
(観覧券販売は午後4時30分まで)

### [休館日]

月曜(ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)  
年末年始。館内設備点検期間(5/9～6/7)  
【住所】〒940-2083 新潟県長岡市千秋3丁目278-14  
TEL:0258-28-4111(代表)  
<http://www.lalanel.gr.jp/kinbi/>

東京富士美術館所蔵 近代日本画の精華 3月16日(土)～5月8日(水)

ルーベンス—栄光のアントワープ工房と原点のイタリア 6月29日(土)～8月11日(日)

近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展 8月31日(土)～10月14日(月・祝)

館長 庵野秀明 特撮博物館 11月8日(金)～2014年1月21日(火)

岩田正巳展 2014年3月1日(土)～4月13日(日)

## 新潟県立万代島美術館 The Niigata Bandaijima Art Museum

〒950-0078  
新潟市中央区万代島5-1(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)

TEL: 025-290-6655 FAX: 025-249-7577  
URL: <http://banbi.pref.niigata.lg.jp/>



### How To Access

新潟県立万代島美術館は、新潟市を貫く信濃川の河口にある複合施設「朱鷺メッセ」の中、万代島ビル(ホテル日航新潟と同じ建物です)の5階にあります。

#### 新潟駅から

- バス……………約15分  
(万代橋バス停より「佐渡汽船」行(5番線)あるいは「新潟市観光循環バス」(13番線)に乗車。「朱鷺メッセ」下車)
  - タクシー……………約8分
  - 徒歩……………約25分
- 
- #### 新潟空港から
- タクシー……………約20分

#### 開館時間

午前10時～午後6時  
(観覧券販売は午後5時30分まで)

#### 休館日

月曜日(展覧会によって月曜開館あり)、  
展示替期間、年末年始(12/28～1/3)  
※展覧会によって異なりますので、  
展覧会ごとにご確認ください。

#### 観覧料 免 除

新潟県内の高等学校・特別支援学校が、教育活動として美術館に団体引率をする場合、所定の用紙で事前に(見学の一週間前)申請をすることにより、観覧料が免除されます。美術の授業、社会科見学、遠足などさまざまな形でご利用いただけます。